

第1章 都市マスタープランとは（P1～P3）

都市マスタープランの役割

- 都市計画法第18条の2に位置づけられる「市町村の都市計画に関する基本的な方針」
- 市町村のすべての計画の基本となる総合計画の将来像を、都市計画の分野で実現しようとするもので、市町村が進める都市づくりの指針となるもの

改定の背景

- 平成9年8月に策定された都市マスタープランを市民参画中心としたプランとして平成20年6月に改定
- 平成26年3月には施策の進捗や社会情勢の変化等に対応するため、「東日本大震災の教訓を活かした都市づくり」と「低炭素まちづくり」の視点で一部見直しを実施
- 今後、人口減少や高齢化などの問題に直面し、社会経済状況も変化しているため、新たな都市づくりが必要なため本プランを改定

第2章 現状と課題（P5～P40）

これまでの都市づくりの経緯

- ・「湘南の快適環境都市 ～みんなで作る 住み続けたいまち ちがさき～」の実現に向けて、市民との協働による都市づくりに着目し、施策を展開
- ・環境に配慮した低炭素まちづくりや、最低敷地面積の導入などによる快適な住環境の整備、自転車走行空間の整備などの取り組みを推進

茅ヶ崎市の現状

- 近年、まちづくりなどの分野において、市民や事業者など多様な主体が参画
- 人々の生活スタイルも変化
⇒まちづくりの方向性や目標をみんなで共有し、まちなかで過ごせるような居場所を多くつくるまちづくりを進めていきたい

市内外の方々が抱えている茅ヶ崎のイメージ、イメージを構成する要素を調査

景観計画・みどりの基本計画と共通の認識

■人々が抱く、『茅ヶ崎らしさ（価値・魅力）』とは

- 海岸や里山があり、買い物もでき、徒歩や自転車で行ける便利さ（**まちがコンパクト**で、自然、駅周辺、商店、住宅などが近接）
- 都心や観光地に比較的近く、他都市の魅力も味わえる
- ⇒ **人とまちの「近接性」によるもの（「人とまちの距離がちょうどよい。」）**

社会情勢変化

《国等の動き／人口減少、超高齢社会等への対応》

- ・持続可能な開発目標（SDGs）
- ・まち・ひと・しごと創生総合戦略
- ・国土形成計画～対流促進型国土の形成
- ・立地適正化
- ・スマートウェルネスシティ構想
- ・生物多様性国家戦略
- ・国土強靱化
- など

茅ヶ崎市の将来展望

- **人口減少、超高齢社会**
労働力の減少や税収減少など都市活力への影響、空き家・未利用地の増加、外出機会の減少
- **ライフスタイルの多様化**
働き方改革、昼間人口の増加など
- **広域連携、交流のポテンシャル向上**
さがみ縦貫道路の開通などによる広域的な交通ポテンシャル向上
- **大規模地震の切迫性**
- **厳しさを増す財政状況**
- など

これからの都市づくり

「茅ヶ崎をより**価値あるまち**にし、まち中では誰もが自分らしく、その時の気分で思い思いの時間を過ごしている。そんなまち中で、**多世代が交流し、つながり、共生できるまち**」をめざします

まちづくりの方向性や目標をみんなで共有し、まち中で過ごせるような居場所を多くつくる

『多世代』の「交流」と「つながり」を創出

- ・子どもや親、お年寄りをはじめ様々な人が外出し、思い思いの時間を過ごすことにより、新たな発見や出会いが生まれ、まちの賑わい、地域経済の活力向上

【『茅ヶ崎らしさ』を高める都市づくり】

- 「安全・安心」「快適」「便利」の視点で都市基盤の質の向上や産業基盤の強化
- 社会情勢変化への新たな対応
- 『茅ヶ崎らしさ』を高める事項（3つ）を意識した都市づくり

①都市機能が近接している環境を強化すること

②楽しく、リラックスして過ごせる空間をつくること

③街なかの移動も楽しめること

第3章 将来都市像（P41）

将来都市像

「多世代が共生できる住みたい、住み続けたいまち」～みんなで育む やすらぎとにぎわいのある快適環境都市～

温暖な気候の下で屋外での生活を楽しみながら、豊かな自然や利便性の高い都市機能などの多様なまちの魅力をライフスタイルに応じて使い分けることができ、また、様々なライフステージの人々がお互いに支えあいながら、いきいきと活躍できる都市

第4章 基本理念（P43～P70）

基本理念

- **ユニバーサルデザインに配慮し、市民生活の「安全性」「快適性」「利便性」を支えるとともに、地域や経済の活力の創出と、人々の支え合いの基盤の構築を推進**
- **環境に配慮するとともに、みどりを様々な機能を持つ「グリーンインフラストラクチャー」と捉え活用**
- **『茅ヶ崎らしさ』を高める事項を市民・事業者・行政が共有して、まちを育むことで多世代が共生できる都市をめざす**

都市づくりの目標

- 1.多様な個性と自然と文化が共生する都市づくり**
～まちの資源に磨きをかけていくことで魅力ある都市空間に～
- 2.地域や経済の活力が「茅ヶ崎」の魅力を育む都市づくり**
～にぎわいを生み出すことでまちやひとが元気に～
- 3.安全・安心、快適、便利な市民生活が実現できる都市づくり**
～日常生活に必要な都市機能を向上し質の高い暮らしができる住環境に～

分野別の取り組み方針

- 土地利用 ～多様なライフスタイルを支えるまち～
- 交通体系整備 ～楽しく快適に移動できるまち～
- 自然・緑地整備 ～人と生きものが共生するみどりのネットワーク～
- 都市景観形成 ～軽やかな気持ちで過ごせる空間をつくる～
- 住環境整備 ～心地よく・住みよいまち～
- 都市防災 ～強さとしなやかさを備えた安全・安心なまち～